

令和5年度、保護者アンケートに協力ありがとうございました。アンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。今後とも、稲羽西小学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 令和5年度保護者アンケート

※ Aよくあてはまる Bどちらかというあてはまる Cどちらかというあてはまらない Dあてはまらない

※ 達成度 = (4A+3B+2C+D) / 4 すべての回答者が A ならば 100

### [学校運営について]

①学校は、保護者が学校の教育内容や指導について理解できるよう、情報提供に努めている。

・学校だより ・学年だより ・ホームページ ・スマート連絡帳 ・すぐメール

(A+B=93.8 A)

A	B	C	D	無	達成度
37.5	56.3	6.3	0	0	82.9

・毎月発行している「学校だより」「学年通信」やホームページが情報として一定の評価を受けている。子どもの良さががんばりを認め、自己肯定感や有用感を耕していくにも良いツールであるとともに、保護者や地域の皆様のお力添え等についても積極的に発信する。

②学校は、「全職員で全児童を指導する。」という体制で、児童の困り感に寄り添った指導に努めている。

(A+B=84.0 B)

A	B	C	D	無	達成度
27.1	56.9	13.2	2.8	0.0	77.1

③学校は、児童一人一人が「できた」「わかった」といえる授業を行っている。

・少人数指導(算数) ・教科担任制(高学年) ・学年授業 ・電子黒板 ・ICTの活用

A	B	C	D	無	達成度
16.0	72.9	9.7	1.4	0.0	75.9

(A+B=88.9 B)

・実態に応じて、UD(ユニバーサルデザイン)の視点を取り入れた授業改善を進め、さらに発展させる必要がある。授業展開の構造化、課題の焦点化・視覚化・共有化を進め、「できた」「わかった」と実感できる授業づくりに努める。また、振り返りの場を工夫する。

・タブレットを効果的に活用し、個々の課題や個人差を埋める指導を充実させる。(一律から個別へ)

④学校は、児童の安全を確保するため、命を守る訓練など安全教育を進めたり、校舎内外の環境整備を進めたりしている。(A+B=92.4 A)

A	B	C	D	無	達成度
26.4	66.0	6.3	1.4	0.0	79.4

- ・見まもり隊の皆様の見守り体制が、本当に素晴らしい。それを当たり前とせず、見守っていただける方々に感謝の思いを抱かせるとともに、自分の身は自分で守る安全指導を進める。今年度は、見まもり隊の方への感謝の会で、6年生が沖縄の伝統舞踊「エイサー」を披露し、感謝の気持ちをお伝えした。多くの方に、たいへん喜んでいただけた。
- ・シェイクアウト、休み時間、予告なし等の命を守る訓練等、実際の災害時に生きて働くよう工夫している。
- ・登下校についての相談に、迅速に対応している。
- ・今年度も、就労支援ボランティアの方が、月1～2回環境整備を進めてくださった。(草刈り、ピオトープ、池、石山周辺の整備等)

⑤学校は、児童一人一人に自己有用感や自己肯定感を育てている。(A+B=93.0 A)

A	B	C	D	無	達成度
36.1	56.9	6.3	0.7	0.0	82.1

- ・児童会や学年・学級の取組にて、「子どもたちが活躍できる場を位置付け、よい事実をつくらせ、認め広める」営みを丁寧に実践している。それを保護者や地域の皆様も価値付けてくださっている。
- ・「やって良かった」「自分も大切な存在だ」と思えるような価値付けをこれからも大切にしたい。

⑥学校は、児童一人一人にボランティア精神を育てている。(A+B=82.6 B)

- ・ボランティア活動 ・ボランティア手帳 ・話そう語ろうわが家の約束

A	B	C	D	無	達成度
25.7	56.9	16.7	0.7	0.0	76.9

- ・ボランティア手帳(よいこと見つけでも)の取り組みでは、量と質のことがよく話題になる。子どもは回数が分かりやすいので量で認めていけば良いが、内容を価値付けることも大切。
- ・今年度は、保護者・地域や来校者の方から教えていただいたよさについて、職員室前の廊下掲示で位置付けた。価値ある行動を認め、広めることを継続していく。
- ・ボランティアをやっているが、書くことに抵抗がある児童も多い。今年度は、取り組み内容を(学校経営の柱に照らして)、印刷した用紙を各クラスに配付し、貼るようにした。さらなるアイデアを出したい。

⑦保護者の問い合わせ(電話)や来校時の、教職員の対応は適切である。

(A+B=95.9 A)

A	B	C	D	無	達成度
54.2	41.7	2.8	1.4	0.0	87.3

[来年度の重点について]

⑧来年度、本校の教育に一番力を入れてほしいことは何ですか。(3つ選択)

ア	基礎的・基本的な学力	↑52.1	<本年度 >多い順にエアウ ・昨年度に続けて同じ上位3項目。 「他人を思いやる温かな心」 「考えや意見を表現する力」 「基礎的・基本的な学力」
イ	安全教育(コロナ対策を含む)新設	↓6.3	
ウ	考えや意見を表現する力	↓45.1	
エ	他人を思いやる温かな心	↑63.9	
オ	自他の生命を尊重する心	↓13.2	
カ	挨拶、言葉遣い等の礼節	↓20.8	
キ	ルールやモラルを守る規範意識	↑42.4	
ク	自己有用感・自己肯定感	↓36.1	
ケ	ボランティア精神	↑3.5	
コ	体づくり	↓11.8	

[お子様について]

⑨わが子は、学校へ行くのが楽しいと言っている。(A+B=87.5 B)

A	B	C	D	無	達成度
39.6	47.9	9.0	3.5	0.0	81.0

⑩わが子は、学校の授業が分かると言っている。(A+B=91.7 A)

A	B	C	D	無	達成度
31.3	60.4	7.6	0.7	0.0	81.0

- ・UDの視点を取り入れた授業改善、指導法の工夫や個に応じた指導・支援を丁寧に取り組んだことを理解していただけたと考えられる。
- ・3年生の希望者を対象にしている「ららら学習室」は、地域のボランティアの皆様の手厚いご指導により、基礎基本の定着につながっている。
- ・タブレットの活用などで、個々の課題に応じた学習の位置付け方を工夫する。

⑪わが子には、よいところや自慢できることがある。(A+B=97.9 A)

A	B	C	D	無	達成度
60.4	37.5	2.1	0.0	0.0	89.6

- ・子どもの良さを保護者と教職員で共有できるようにする。子どもたちと共に、よい事実(行動)をつくり、それを認め広める営みをさらに進める。
- ・得意なこと、好きなこと、興味のあることなど児童理解につながる。

⑫わが子は、学校や地域・家庭であいさつをしている。(A+B=86.8 B)

A	B	C	D	無	達成度
21.5	65.3	12.5	0.7	0.0	76.9

- ・見まもり隊の方へあいさつが返せない子、児童玄関前でも、あいさつを返せない子は少なからず目にすることがある。
- ・稲羽中学校区の学校運営協議会の重点活動として、稲中生が本校の校門であいさつ運動を展開しており、多くの中学生が来校し、あいさつの啓発をいただいている。
- ・2月の「6年生ありがとうの会」で、6年生企画委員が、「あいさつを伝統として高めてほしい」という思いを語った。それを受けて、5年生児童が中心となり、「あいさつ」を広めようと動き出している。あいさつの良さを実感させる活動を位置付け、見つけた児童の良さを認め広める。

⑬わが子には、話しやすい教職員がいる。(A+B=84.7 B)

- ・担任 ・ほかの職員 ・養護教諭 ・カウンセラー ・図書館職員など

A	B	C	D	無	達成度
27.1	57.6	12.5	2.8	0.0	77.3

- ・「ここにいるすべての先生方が約束します。皆さんが願いを持って、より良くなろうとするために頑張ることを、先生たちは精一杯応援します。頑張っている仲間の心や体を傷つける言動に対しては、先生たちは厳しく指導します。そして、悩み事や不安、困ったことがあれば、どんなことでも、一番話しやすい先生に相談してください。解決できるまで粘り強く関わり続けます。」といったメッセージをあらゆる場面で教師が児童・保護者に発信していく。

<記述より>地域・家庭に関するものを抜粋

○学校を欠席した日、Zoomで授業を受けられるようにしてほしい。感染症で出席停止となると休みが長くなる為、授業が分からなくなると思います。重い思いをして持ち帰りしているので、iPadを有効に使ってほしい。他の小学校はだいぶ前からZoomで授業を受けられると聞いています。早急に対応をお願いします。"

☞体調不良で、欠席したお子さんにはZoom配信ではなく、体調の回復を最優先に考えていただいています。感染症等で、出席ができず、長期間休まれる場合は、体調の回復具合により、配信や課題をお伝えするなどの対応をさせていただきます。低学年児童に対するオンライン授業は、理解が難しい部分があるため、タブレットを活用して自学できるコンテンツを紹介するなどして家庭学習の充実を図るようにします。

○町内別下校は必要ですか？

☞本年度も、夏季や冬季には、実施していません。熱中症や感染症予防のためです。町内別下校については、実施回数や位置付け方を検討いたします。

○"石山が危険で心配です。落ちたら命に関わるのではないかととも思います。

☞石山等、遊具については、定期的に専門業者に点検をいただいています。石山については、階段部分の除草等に努めて参ります。あわせて、子どもたちへの安全指導を行います。

○社会に出た時困らないように、規律やルール遵守。基本的な礼儀(挨拶、敬語、感謝、謝罪など)、相手の立場や気持ちを尊重した言動が出来るように、優しさだけでなく「厳しい」ご指導を期待しております。

○いつも学習や生活の面など、教えていただいたりみまもりいただいたり、学校に行くのが楽しそうで、成長がみら

れるのでありがたいです。

○いつもありがとうございます。先生方のおかげで子どもたちは楽しく学校へ通えています。あと一年ですがよろしくお願いします。

○見守り隊の方への挨拶など、もう少ししっかりできたらなと思います。(我が子も含め)

○タイツやレギンスを履いても運動がしにくくなるとは思えません。長ズボンタイプは価格も高いので、兄弟、洗い替えを考えると出費が厳しいです。

☞指導部、運営委員会で検討を継続します。中学校とも話題にします。

○他の学年の子どもの交流が増えると嬉しいなと想います。理由は、どの学年の子にも色々な感情を学ぶきっかけになると思うからです。

☞なかよし活動の充実させ、クラブの位置付け方や回数を検討します。

○児童一人一人を見る事は大変だと思いますが、理想の児童像には当てはめる事なく、できていないところには目をつむりなるべくなら、昨日より良くなった事を見つけてあげてほしいです。また、先生も児童も怒る時は困った時だと感じます。何に困っているのかを考えて、上手に伝える工夫や、どうしたら解決できるのかを先生と児童、先生同士、児童同士、一緒に考えてあげてほしいです。

☞特別支援コーディネーターが中心となり、たんぽぽ学級や通級指導教室で実践しているSSTを児童交流等で共有します。

○少子化に伴い、子供会の人数もどんどん減少していています。役員の負担も大きく、活動の在り方をみんな考えていくべきだと思います。

☞誰もが無理なく、参加できるPTA活動とするために、PTA本部役員会で検討を進め、スリム化を図っています。